

基本目標5 生涯学習とスポーツの振興

1 生涯学習の振興

①生涯学習環境の充実

生涯学習は、自己の啓発、生活や職業上の能力の向上のため、さまざまなライフステージで、自発的な意思に基づいて、自分に適した手段や方法によって生涯にわたって行う学習活動であり、個人を活性化するとともに、本県の活力の増進にもつながるものです。

現在、県や市町の生涯学習センターや公民館等が開設している講座に加えて、県内の大学等の連携による一般県民向けの講座も開かれています。

また、県民が仕事や趣味で得た知識を生かして、ボランティア講師を務める講座なども開設されています。

高齢社会を迎えて、生涯学習のニーズはますます高まっており、さらに多様な学習機会の提供と講座内容の充実が求められています。

○多様で魅力ある講座の提供

時代の変化に対応し、暮らしの中で役立つ最先端の知識や技能を高めるための講座の開設など、時代のニーズや受講生の意見等に基づき、福井ライフ・アカデミー事業を充実します。

ふるさと福井の自然・歴史・産業等や「白川文字学」を学ぶふるさと講座を充実し、ふるさとについての知識を深め、ふるさとへの誇りや愛情を育みます。

○ボランティア講師の活動に対する支援

県民同士が互いに教え合い、学び合う機運を高めるために、ボランティア講師の研修や講座の開催にかかる支援を充実します。

○在宅受講システムの整備

高齢者や障害者、遠隔地の住民等、講座の開催場所に来ることが困難な県民のために、インターネット等を活用し、在宅で講座を受講できるシステムを整備します。

2 生涯スポーツの振興

①スポーツを通じた健康づくりの推進

生活習慣の変化や多様化が進む中で、日常生活において体を動かす機会の減少や、精神的なストレスの増大など、心身両面にわたる健康上の問題が顕著になっています。

スポーツは、フェアプレイの精神を培うなど人間形成に重要な役割を果たすものであり、明るく豊かで活力に満ちた社会づくりにつながるものです。平成 30 年の福井国体の開催を控え、県民にとってスポーツがより身近になるような環境づくりが必要です。

県内には、年齢に関係なく複数のスポーツを楽しむことができる「総合型地域スポーツクラブ」が 18 団体活動しており、今後さらなるクラブの設立と活動の活性化が期待されます。

今後、地域のスポーツ活動を広げ、生涯スポーツ環境を整備していくためには、県と市町が連携して、各地域の「総合型地域スポーツクラブ」やそれを支援する「広域スポーツセンター」(福井運動公園事務所)の機能を充実していく必要があります。

○スポーツを通じた県民の健康・体力の向上

県民一人ひとりがスポーツに親しむキャンペーンの展開や、子どもから高齢者まで楽しめる体操やダンスの創作、幼児の頃から親子がいっしょに体を動かす「遊びと運動プログラム」や家庭・地域・学校において楽しく運動できるニュースポーツの普及を通して、県民の豊かなスポーツライフを創造します。

スポーツ医・科学に基づいたスポーツ支援活動を充実し、スポーツ障害の防止や競技力の向上に役立てます。また、県民の健康長寿を目指し、介護予防やリハビリテーションとスポーツを結び付ける研究を進めます。

○スポーツを身近にする環境づくり

子どもから高齢者まで気軽に参加できる総合型地域スポーツクラブの設立や育成を県内全域で進めるとともに、地域のスポーツ活動を企画し支えるクラブマネージャーの養成や、広域スポーツセンターから指導者を派遣するシステムの構築を図ります。

また、全国7位(平成22年調査)にあるスポーツ少年団の加入率の一層の向上を図るとともに、中学校進学後も継続して同じ競技で活動できるよう、環境整備を進めます。

○スポーツイベントの誘致・開催

全国規模のスポーツイベントを開催し、国内外の優れた競技者等に直接触れる機会を設けるとともに、各種スポーツイベントの誘致活動を積極的に進めます。

②平成30年の福井国体に向けた競技力の向上

ここ3年の本県の国体の成績は、天皇杯、皇后杯のいずれも30位台前半にあります。人口100万人未満の県のほとんどが40位台であることを考えると健闘しているといえますが、目標とする20位台には到達できていません。

目標を達成するには、ジュニア選手の発掘と育成、指導者の資質の向上、指導者不足の解消、有力選手の県外流出の防止などの課題があります。

このため、県体育協会や各種競技団体と連携を図りながら、県競技力向上基本計画に基づく競技力向上対策を中長期的に進める必要があります。

◇過去10年間の国体成績

年 度	開催地	天皇杯 順位	皇后杯 順位	入賞数	年 度	開催地	天皇杯 順位	皇后杯 順位	入賞数
H13	宮城県	37	27	36	H18	兵庫県	33	25	49
H14	高知県	44	42	45	H19	秋田県	38	40	48
H15	静岡県	36	32	43	H20	大分県	34	33	50
H16	埼玉県	34	31	51	H21	新潟県	32	30	49
H17	岡山県	27	26	50	H22	千葉県	34	32	45

○選手の育成と強化

国体での県民の盛り上がりには、県内選手の活躍が不可欠であり、総合型地域スポーツクラブや未普及競技の育成などを通じて、県内選手の発掘と育成を進めます。

また、競技ごとに、ジュニアから成人まで一貫した指導体制の確立や、スポーツ医・科学を取り入れた指導方法の普及など計画的な競技力向上対策を進め、トップアスリートの育成を図ります。

県体育協会や各競技団体、学校、企業、スポーツ少年団等が連携して、長期にわたって好成績を持続できる選手強化体制を整備します。

○指導者の育成と確保

スポーツ指導者は、国体後も本県スポーツ振興の中核となることから、全県的なバランスも考慮しながら計画的な育成に努めるとともに、指導者としての資質向上を図るため、日本体育協会公認スポーツ指導者・コーチの資格取得を促進します。

○「1県民1参加、1スポーツ」の環境の整備

県民の元気と創意を国体に結集（1県民1参加）するとともに、スポーツを県民の生活に浸透させる「1県民1スポーツ」運動を進めます。

また、国体後の本県スポーツの振興を見据え、審判等の競技役員が県内で確保できるよう、有資格の競技役員を計画的に育成します。

さらに、企業と各競技団体との連携を強化することによって、企業が競技スポーツに参加できる仕組みを整備します。

競技開催会場については、福井運動公園等県有施設の利用を念頭に置き、今後必要となる整備について具体的な検討を行います。